



・行・者・会
・奈・都・障・者
・京・都・障・害
・ス・ポ・ー・ツ
・振・興・会

障害者スポーツのさらなる

飛躍を願って

きざき かつお

今年も、先月に開催された第26回全京都障害者総合スポーツ大会総合開会式・卓球バレー大会で熱戦の火蓋が切られ、各競技が府内各地で展開されることとなつていきます。

今月には、いよいよ卓球大会が行われ、手に汗握る白熱戦が繰り広げられるものと期待が高まっています。

私は、ボランティアとして障害者の方にスポーツを親しみ、楽しんでいただくことを願ひ、各種競技のお手伝いをしてはや10年近くになるうとしています。

ボランティアになるために、平成9年度に障害者スポーツ振興会が実施された

障害者スポーツ指導者講習会を受講し、障害者のスポーツ指導員の資格を取得し、その後、毎月実施されている京都府立体育館での「障害者スポーツのつどい」のスタッフとしての活動を中心に、スポーツを通じて障害者の方々とコミュニケーションの場をつくつていきます。

そもそも、障害者スポーツとの結びつきは、昭和63年に二巡目最初の国体の後に開催された「愛とふれあいの京都大会」(第24回全国障害者スポーツ大会)に関わったことが発端となつていきます。大会が終了し他府県の選

手団を見送った後に、西京極陸上競技場の芝生が照明で緑色に映えるグラウンドの中央で、感動のつぼに酔いしれてその余韻が覚めやらぬ雰囲気の中、府選手団の皆さんに思いもかけない胸上げをされ、宙に浮く度に涙が溢れた筆舌に尽くせないあの感激は、一生忘れることのできない思い出となつていきます。

その恩返しのためにも二の人生における生きがい一つとして、障害者スポーツを通じて何かのお役に立てればと思ひ、今日までボランティア活動を続けてきています。

この度、振興会では組織改革が行われ、部門毎に専門部制が設けられることとなりました。

私は、「障害者スポーツのつどい」での経過から卓球の専門部に所属することとなりました。また、三回の大会を成功裡に終えることができたチャンピオン卓球大会の実行委員会の委員として関わり、大会のお手

伝いもしてきました。7月の卓球大会は、障害の区分ごとに日頃の技量が判った者同士による競技が展開されることになっていきます。また、チャンピオン卓球大会では、障害の区分を越えて技量により競う方式が取られ、年度の後半に開催が予定されています。これらの大会を通じて障害者の方の競技力の向上を目指すとともに、できるだけ多くの障害者の方が参加できる機会をつくり、卓球の楽しさや勝負喜びを実感していただき、ふれあいを深めて人生をより豊かなものにつなぐればすばらしいことだと思つていきます。

(裏面へ続く)



行事予定	7月	11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園
		15(土)	障害者アーチェリー初心者教室	福知山市三和荘
		16(日)	第26回全京都障害者総合スポーツ大会	京都市障害者スポーツセンター
		23(日)	城陽障害者スポーツのつどい 乙訓障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽 大山崎町体育館
詳しくは、京都障害者スポーツ振興会事務局まで(火曜日及び第3金曜日は定休日) 京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-net.or.jp/people/spo-shin/ (5月20日に一部更新)				

来月のつどいは
8 / 13
第2日曜日

(表より)

専門部の他の方々の多くは、障害の有無に関わらず、いづれも卓球経験も豊富で、人望・指導力ともに優秀であり、京都における障害者の卓球界の先導役として、欠くことのできない存在です。

しかも、今回は障害をお持ちの方が積極的に参画され、たことは極めて画期的なことであり、この方々が主体となつていただくことで、競技面はもとより障害者の立場をより理解した運営がなされ、京都の障害者の卓球界の更なる飛躍が大いに期待されるところです。

私は、若い時分の昼休みや温泉旅行でのピンポン程度で卓球の素養がなく、専門部のメンバーとして道格かどうか。専門部の皆さんの足を引っ張りかねない者ですが、皆さんのご指導を得ながら障害者の方々のために多少なりともお役に立てられるサポーターとして微力ながら頑張つて行きたいと思つていきます。

娘の挑戦

北永 正喬

「たかちゃん。こんどの日曜日は、麻衣は中書島のプール行くのよ。」
「うん。たかも、中書島のプール行くの。」
毎月第三日曜日が迫ってくるのに連れて増える娘たちの会話が、家中を和ませてください。
そんな我が子は、『水泳のつどい』参加者として1年ぐらいいになります。今は水泳のつどいに行くことを楽しみにしています。

姉のまいは、今年で6歳。妹のたかこは4歳。2人も自閉症です。現在は京都市内にある「ひなどり学園」に通いながら、すくすく成長しています。『水泳のつどい』はその前から参加しています。

きっかけは、父である私が偶然にも水泳のつどいで遊んでいたこと(ちよつとお腹の出はじめた一応若いスタツプです)に始まり、お風呂に入るのが結構苦手

であり、どうすれば水は怖くないというのを伝えられるか、親共々悩んだ末に「プールに入れてみれば、時間はかかるけれど何とかなるだろう」という発想と、障がいがあつても自然に遊ぶことができる一般の余暇施設を娘たちが安心して利用できるようなればという願いからチャレンジしました。

娘たちは、これまでにも母親教室などで水遊びをチャレンジしたことがありませんが、全く興味を示さないのでどこかパニックを起こして嫌がつてばかりでした。
姉の第一回目は、水着に着替えたものの、母親から全く離れず、加えて、総勢三十人ぐらいの高校生たちの何かの練習後のミーティングを行い、つどいの受付付近で『お疲れ様でした』の大声であいさつ。さすがに驚いてしまい、パニックを起こしてプールには行けず断念。

(次号へ続く)

第26回 全京都障害者総合スポーツ大会 卓球の部 出場者数

244名 (7月1日現在)
(昨年より17名増加・過去最高の参加者数)

選手の皆様のご健闘をお祈りいたします

第26回全京都障害者総合スポーツ大会 卓球バレー大会の部

一般の部	第1位	京田辺ウララ
	第2位	京田辺キララ
	第3位	ピッコロ
施設の部	第1位	みぶつくしいず
	第2位	西陣工房A
	第3位	YJれもん
学校の部	第1位	鳴滝A
	第2位	鳴滝B
	第3位	猛虎

『賛助会員』制度のご案内

京都障害者スポーツ振興会では、平成13年に発足30周年を迎え、その記念すべき時に、障害者スポーツの更なる充実・発展を目指すため『賛助会員』制度を発足いたしました。

それ以来、多くの個人・団体・企業の皆様方のご賛同を賜り、本年で5年目を迎えました。

つきましては、本年も引き続きこの道発展のためより多くの方のご理解とご協力を賜りますようお願いをさせていただいております。

右「問合せ先」にてご案内、振込用紙等を用意いたしておりますので、何卒、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【問合せ先】

京都市左京区高野玉岡町5
京都市障害者スポーツセンター内
京都障害者スポーツ振興会事務局
Tel/fax 共通 075-712-7010

〈ご参考〉

- *個人賛助会員 年間 1口 1,000円
- *団体賛助会員 年間 1口 10,000円
- *会費18年度分は平成19年3月末日まで受け付けております。